

小域福祉ネットワーク通信

発行 平成28年12月25日

平三地区小域福祉ネット

広報部会

発行責任者 朝生 義雄

へいさんの風 第9号

平三地区 納涼盆踊り大会

8/14

皆様のご協力で大盛況でした！

平三小学校の閉校という、地区の皆様にとって大変悲しい出来事から約五か月。地区を元気に明るくしていこうという地区民の情熱が平三地区納涼盆踊り大会へと結びつきました。

27年度平三地区敬老会の折り、「盆踊りでもやってみんなで楽しみましょう。」という意見が敬老者からあり、それを受けての実施となりました。

町会長を中心に本格的な協議を重ね、28年8月14日、文字通り地区を挙げての盆踊り大会となりました。

私たちは元気です！
平三地区はこれからも元気です！と全員が笑顔で踊りを盛り上げ、本当に楽しいひと時を過ごせたことは大変意味のある事です。

これからも明るく元気に、全地区民が力を合わせて2回3回と盆踊り大会を継続して行けることを願い、みんなでの自然豊かな、郷土を愛する温かい心を今よりも強く持って我が平三を良い地区にしていきたいと思います。

小出市長をはじめ、多くの来賓の皆様においでいただきました。



俺に任せとけ！



鮎の塩焼き

準備、間に合うか？

地域の皆さんが大勢来場！



ひとつください！

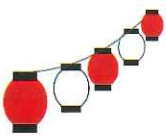


踊って踊って！



初の一大イベント『納涼盆踊り大会』は、吉野台太鼓蓮や牛久民踊会の参加もあって賑やかに始まりました。

地域の皆様も夕方から続々と会場入りし、鮎の塩焼きや焼きそば、巻き寿司等用意した食材があっという間に売り切れる事態に実行委員も悲しい気持ちでいっぱいでした。



祝敬老会 今年もたくさんの方々の笑顔に乾杯！

9月19日、平三小学校が閉校となって初めての敬老会が開催されました。平三地区全体で75歳以上の対象者二百三十名の内約70名の出席で、久しぶりに校舎に賑わいが戻った一日でした。

開会式の後、平三地区児童と鶴舞小学校の児童41名による「よさこいソーラン」で演芸の部がスタートしました。平三小学校で踊っていたよさこいが鶴舞小学校に受け継がれ、その見事な演技に会場から大きな拍手が送られました。

次に地域の歴史に詳しい塚原茂氏による「春日井梅鶯物語」。塚原さん自身80歳と高齢ながら、パソコンで画像を編集し、プロジェクターを自在に使いこなし、鶴舞から浪曲師として誕生した春日井梅鶯の生涯を興味深く話してくださいました。

昼食の後は、健康体操と脳トレから始まり、去年の健康体操で初めて「いいあんばい体操」が紹介され、いち早く米原町会から出張依頼があり、現在は、上畑、平沢とい

いあんばい体操の輪が広がっています。カラオケでは、角田嘉津子様、鎌滝孝子様、金杉一幸様、田中慶様が見事な歌声を響かせ、竹下スズ工様、角田しず子様、長南紅古蓮のよさこいと演技が続きました。

最後に吉野台太鼓の太鼓のリズムに、ファイナルでは炭坑節をみんなで踊って締めくくりました。

敬老会に出席された皆様、忙しいスケジュールの中お越しいただいた来賓の皆様、演芸の部で演技された方々、敬老会をお手伝いくださった婦人部の皆様、実行委員の皆様、楽しい一日をありがとうございました。



笑顔がいいね！



鶴舞小学校から41名参加

民生委員・児童委員とは

12月1日 民生委員が交代しました。

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱を受ける福祉のボランティアです。みなさんの身近な相談相手となり、福祉の支援を必要とする方を行政や専門機関へつなぐパイプ役を務めています。民生委員の任期は3年です。

生活上の相談、医療介護などの相談先がわからない時は、民生委員にお話してください。

市役所や包括センターと連絡を取り、その人に合った専門の担当に取次ぎをします。

また、65才以上の独居の方や子どもの見守りもしています。



新民生委員を紹介します 宜しくお願いします。

平沢・宿滝担当
渡辺 信一

少子高齢化社会の中で、この平三地区においても多様な課題を抱えていると思われ、委員活動が少しでも地域福祉推進の一助となれば幸いです。

根古屋・小草畑担当
仲村 栄

一〇数年日曜大工に凝っており、余った板を利用し、縁台等作っています。山ユリの猿対策で網を張った育苗室造りをして園芸も楽しんでます。

米原・上畑・桜ヶ丘担当
金高 義幸

重責に対し身の引き締まる思いですが、社会福祉の増進並びに明朗で健全な社会づくりの一助となれるよう努力していきたく思います。

平三地区の有害鳥獣被害対策の現状と課題

平三地区はイノシシによる被害が甚大で、農道でも畑でも土手でも家の周りでも土さえあればいたる所掘り返されています。ひどい所では、土手が崩され川や田んぼとの境がなくなるほどです。

平三地区では、箱檻を設置できる免許を持っている方々により、町会の対策組織や有志の方々が捕獲活動をしてくださっております。

イノシシのほか猿、鹿、キョン、ハクビシンなど10年前では考えられないような被害です。

これからは、地域の人々が安心して住めるような環境にするため、平三地区と市原市や猟友会などが知恵を出して対策を考えていかなければなりません。

収穫を楽しみにして種をまき、育てられるような地域にしたいものです。



安心訪問員フォローアップ研修

11月20日君津市特別養護老人ホーム上総園にて小域福祉ネットワーク見守り部会フォローアップ研修会を実施しました。

平三地区からは民生委員、見守り部会員合わせて10名が参加しました。

上総園主任より、介護サービスを提供するための3施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設）についての概要説明と介護サービス利用までの流れ

の説明と上総園の現況について一か月の利用料の目安、保険料段階等の説明があり、その後個室、多床室、リビング、談話コーナー、静養室など館内を見学しました。

上総園は、24時間態勢で看護師が常駐しており、指定の病院とも連携して対応できる整った施設でした。

その後、道の駅保田小学校を見学して帰路につきました。



道の駅保田小学校

防災ボランティアセンター設置運営訓練

11月23日市原市市民活動センターにて『災害ボランティアセンター設置運営訓練』が開催されました。

市内から70余名参加のもと実施され、平三地区からは朝生、金高が参加しました。

訓練のねらいは「災害発生時にける迅速な初動体制を確立する」でした。

私もは、ボランティアの立場で参加しました。災害時にあっては、被災者の依頼に叶うのがボランティアの使命です。

不特定多数のボランティアが駆けつけてくださった場合に被災者（依頼者）との仲立ちをする組織の訓練でした。

平三地区でも地震や火事、土砂崩れなど起こらないとは言いきれません。

その時、誰がどこでどのようにするのか考えさせられました。

一番の感想は、各町会にある自主防災組織の機能化でした。



焼き物をつくろう会

7月24日陶芸教室が開催されました。当日は平三地区以外に近隣の市町村から総勢45名の参加がありました。

「初めてお会いした少年と作品を通して会話ができて良かった」「子どもに小さい頃から物づくりを体験させたいと思っていた」との声も聞かれ、休日とあって中学生以下の参加者も9名いました。

参加された方の殆どが陶芸活動は初めてでしたが、サークル会員に造り方のアドバイスを受けながら時間いっぱい作品づくりに励みました。



送迎ボランティア



＊通院するとき
＊公共施設等を利用するとき
＊福祉施設や福祉サービスを利用するとき

こんな時移動手段がなくて困ったことはありませんか？
平三地区の皆様も送迎ボランティアサービスの利用ができるようになります。

今のところ月一回程度の活動ですが、単独の歩行が困難な方でご自分で車の乗降ができる方に限り、利用できます。

問い合わせ先
市民活動センター
送迎担当 土持 (つちもち)

☎ 0436・20・3100

高瀧神社秋季例大祭

10月16日秋晴れのもと、高瀧神社秋祭りが行なわれました。

神輿の担ぎ手は百二十五人と決まっていますが、各町会とも年々高齢化しており、60歳でも青年扱いとなっているのが現状です。

しかし、昔から喧嘩祭りと呼ばれるだけあって今年も上郷、宮本郷、平蔵郷三基の神輿が出そろい、勇壮な祭りに熱気も最高潮！

今後祭りも続けていこうという意気込みを感じさせてくれました。



上総いちばら国府祭り

10月1日(土)
第6回国府祭りの練踊りが開催されました。平三町会からは婦人部と町会長合わせて約50名ほどの人がバス1台に乗り込み、会場入りしました。

当日は朝からの雨で、もしや中止では？と思われましたが、予定通り開催との連絡に町会長の皆さんは急きょレインコート買い出しに奔走する事態となりました。

踊りのスタートは2時。みんなの思いが天に通じたか、練踊りの時間帯は雨もやみ、練習の成果を十分発揮することができました。



編集後記

平三地区小域ネットワークの会議は、旧平三小体育館や地区の公民館を借りて推進会議・各部会会議を行い、情報交換やイベント開催などの打ち合わせを行っています。

これからも安心、安全な住みやすい平三地区を目指して活動していきたいと思えます。

今年もあと数日で新年を迎えます。平成29年が皆様にとって良い年になりますようお祈り申し上げます。



広報部会 編集会議の様子

平三地区慰霊祭

8月15日小学校校庭東側忠魂碑前において平三地区戦没者慰霊祭が、遺族会会長宮田市郎治氏を実行委員長として各地区役員7名の参加のもと厳かに執り行われました。

忠魂碑は昭和29年3月に建立されて以降毎年8月に慰霊祭として行われているものです。

忠魂碑裏側には明治10年西南の役、日清・日露戦争・日支事変、そして先の大東亜戦争で亡くなられた方八十余名の戦傷病死者名が刻まれています。



宮田 市郎治 氏



献花